

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	08	02	02	184040	生活道路維持事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		1,395,567	1,781,035		385,468
財源内訳	国費	238,598	401,546		162,948
	県費	4,916	0		-4,916
	地方債	92,100	236,800		144,700
	その他	285,930	204,550		-81,380
	一般財源	774,023	938,139		164,116

特定財源の内訳					

事業期間	<input type="radio"/>	単年度繰返	<input type="checkbox"/>	期間限定	~
------	-----------------------	-------	--------------------------	------	---

部重点施策における目標

安全で利便性の高い道路の整備を進める。

事業開始の背景・経緯

市道の維持補修は道路管理者である市が行うものであり、生活道路を安全安心に利用できるように維持管理を行うもの。

事業概要

- 市道維持管理（舗装修繕、除雪等） 1,181,921千円
- 【R3→R4繰越】市道の維持工事 115,028千円
- 【R4現年】市道の維持工事 427,001千円
- 車両・機械の購入 57,085千円

担当部署	16200000 建設部 道路	担当課長	重茂 猛
------	-----------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

生活道路維持事業1,781,035千円

1. 市道の維持管理 1,181,921千円
 - (1) 道路補修、路面・側溝清掃、除雪等業務1,032,991千円
 - <概要>
 - ① オーバーレイ補修、路面補修（クラック・段差・穴）
 - ② 施設補修（側溝・照明・法面・防護柵）
 - ③ 路面・側溝・暗渠清掃
 - ④ 施設保守点検（照明・排水ポンプ）、融雪装置点検補修
 - ⑤ 緑地等管理（街路樹・法面路肩除草・害虫駆除・支障木伐採等）
 - ⑥ 除雪（延長1,888km）
 - ⑦ 補修資材（砕石・側溝・ガードレール等）、凍結防止剤、消耗品
 - ⑧ 交通量調査
 - ⑨ 現道舗装
 - (2) 道路維持に係る諸経費110,258千円
 - <概要>
 - ・光熱水費、通信運搬費、車両借上料、車両修繕料等
 - (3) 運転手・事務補助員等36,413千円
 - ・運転手9人、作業員4人、事務補助員2人、行政事務員1人
 - (4) 市道管理システム経費2,259千円
 - ① 除雪管理システム
 - ② 道路管理システム

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	08	02	02	184040	生活道路維持事業費

事業手法の詳細 2					
2. 【R3→R4繰越】市道の維持工事115,028千円					
(1) 舗装長寿命化(設計含む) 37,700千円					
①3路線 舗装打替37,700千円 ※社総交対象：50%、地方債(合併特例債)					
(2) 道路土工構造物長寿命化(設計含む) 13,706千円					
①3路線 設計13,706千円 ※社総交対象：50%、地方債(過疎債)					
(3) 融雪施設修繕(設計含む) 31,952千円					
①吹張町・滝ノ沢線 31,952千円 ※社総交対象：雪寒60%、地方債(合併特例債)					
(4) 機能強化(LED化)(設計含む) 31,670千円					
① 中道・平良木線(大沢トンネル)LED化工事31,670千円 ※社総交対象：50%、地方債(合併特例債)					
3. 【R4現年】市道の維持工事427,001千円					
(1) 舗装長寿命化(設計含む) 212,260千円					
①7路線(舗装打替、切削オーバーレイ)					
舗装打替203,363千円 ※社総交対象：50%、地方債(合併特例債、辺地債、過疎債)					
切削オーバーレイ471千円 ※地方債(合併特例債)					
② 舗装長寿命化点検・計画修正8,426千円 ※社総交対象：50%					
(2) 道路土工構造物長寿命化(設計含む) 74,314千円					
①5路線 70,706千円 ※社総交対象：50%、地方債(合併特例債、辺地債)					
②道路土工構造物点検・計画修正 3,608千円 ※社総交対象：50%					
(3) 融雪施設修繕(設計含む) 90,247千円					
①吹張町・滝ノ沢線 74,297千円 ※社総交対象：雪寒60%、地方債(合併特例債)					
②台線(台温泉)設計6,270千円 ※社総交対象：雪寒60%、地方債(合併特例債)					
③駅前四日町線ほか 設計9,680千円 ※社総交対象：雪寒60%、地方債(合併特例債)					
(4) 機能強化(LED化)(設計含む) 49,597千円					
① 中道・平良木線(大沢トンネル)LED化工事36,398千円 ※社総交対象：50%、地方債(合併特例債)					
② 花巻空港地下道(3路線)LED化設計13,199千円 ※社総交対象：50%、地方債(合併特例債)					
(5) その他 設計583千円					

事業手法の詳細 3	
4. 車両・機械の購入57,085千円	
(1)	凍結防止剤散布車(H12更新) 21,450千円 ※社総交対象：雪寒機械2/3、地方債(合併特例債)
(2)	除雪ドーザー(H3更新) 24,530千円 ※社総交対象：雪寒機械2/3、地方債(過疎債)
(3)	ハンドガイド除雪機(S63更新) 746千円 ※社総交対象：雪寒機械2/3
(4)	小型除雪機(地域配置) 22台 7,962千円 ※単費
(5)	温水高圧洗浄機(温水除草システム)ほか 2,397千円 ※単費

令和4年度
事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	08	02	03	184070	生活道路整備事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		1,606,496	1,317,997		-288,499
財源内訳	国費	676,635	643,567		-33,068
	県費	0	0		0
	地方債	862,800	604,900		-257,900
	その他	0	0		0
	一般財源	67,061	69,530		2,469

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返	○	期間限定	令和2年度 ~ 令和5年度
------	--	-------	---	------	---------------

部重点施策における目標

安全で利便性の高い道路の整備を進める。

事業開始の背景・経緯

交通の利便性の向上や安全確保のため、道路整備が求められてきた。

事業概要

- 生活道路整備事業（繰越明許費） 459,479千円
- 生活道路整備事業 858,518千円

担当部署	16200000 建設部 道路	担当課長	重茂 猛
------	-----------------	------	------

意見・要望等の状況

--

事業手法の詳細1

◇幹線道路整備、また、地域要望等において対策が必要な箇所、事業費等を検討しながら、事業箇所を選定。

- 1 生活道路整備事業（繰越明許費） 459,479千円
 - (1) 道路改良 9路線 459,479千円
完了路線 5路線 完成延長 L=2.1km
- 2 生活道路整備事業 858,518千円
 - (1) 道路改良 27路線 403,788千円
完了路線 3路線 完成延長 L=1.3km
 - (2) 舗装新設 10路線 135,262千円
完了路線 8路線 完成延長 L=3.1km
 - (3) 側溝整備 16路線 293,113千円
完了路線 3路線 完成延長 L=2.1km
 - (4) 防雪柵整備 2路線 15,567千円
完了路線 0路線 完成延長 L=0km
 - (5) その他 10,788千円
電柱・水道移設委託・補償、用地測量等

令和4年度
事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	08	02	03	184090	花巻スマートインターチェンジ整備事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		134,239	110,390		-23,849
財源内訳	国費	43,196	58,624		15,428
	県費	0	0		0
	地方債	11,400	36,800		25,400
	その他	55,243	2,886		-52,357
	一般財源	24,400	12,080		-12,320

特定財源の内訳					
事業期間	○	単年度繰返	期間限定	～	

部重点施策における目標
安全で利便性の高い道路整備を進める。

事業開始の背景・経緯
市道山の神・諏訪線の整備が進み、当該地区の利便性が向上することに伴い東北縦貫自動車道花巻パーキングエリアにスマートインターチェンジを整備するもの。

事業概要
○花巻スマートインターチェンジ整備事業（繰越明許費） 1,205千円 ○花巻スマートインターチェンジ整備事業（事故繰越費） 99,553千円 ○花巻スマートインターチェンジ整備事業 9,632千円

担当部署	16200000 建設部 道路	担当課長	重茂 猛
------	-----------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1	
1 花巻スマートインターチェンジ整備事業（繰越明許費）	1,205千円
（1）用地費	583千円
（2）補償費	622千円
2 花巻スマートインターチェンジ整備事業（繰越明許費）	99,553千円
（1）負担金	99,268千円
（2）補償費	285千円
3 花巻スマートインターチェンジ整備事業	9,632千円
（1）測量設計等業務委託	2,860千円
①埋蔵文化財調査報告書作成業務委託	1,870千円
②資料作成業務委託	990千円
（2）用地費	39千円
（3）負担金	6,377千円
（4）補償費	356千円

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	08	02	04	184100	橋梁維持事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		448,634	497,884		49,250
財源内訳	国費	243,468	273,269		29,801
	県費	0	0		0
	地方債	156,600	165,500		8,900
	その他	0	0		0
	一般財源	48,566	59,115		10,549

特定財源の内訳					

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	
------	---	-------	--	------	--

部重点施策における目標

安全で利便性の高い道路の整備を進める。

事業開始の背景・経緯

橋梁の老朽化対策として修繕工事を実施している。ここ数年で耐用年数を超える橋梁が増加する傾向にあるため、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、計画に基づいた事業展開を目標としている。

事業概要

○橋梁維持事業（繰越明渠費）98,461千円
○橋梁維持事業 399,423千円

担当部署	16200000 建設部 道路	担当課長	重茂 猛
------	-----------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1

【令和3年度→令和4年度繰越事業】
○橋梁維持事業
事業費 98,461千円（国費: 54,151千円、地方債: 42,300千円、一般財源: 2,010千円）

- (1) 橋梁補修設計等 7橋 54,284千円
(大曲橋、寄合沢橋、大岩橋、川原橋、木の宮橋、本坊橋、下川原橋)
- (2) 橋梁補修工事 3橋 44,177千円
(井戸向橋、猪鼻4号橋、木の宮橋)

【令和4年度現年事業】
○橋梁維持事業
事業費 399,423千円（国費: 219,118千円、地方債: 123,200千円、一般財源: 57,105千円）

- (1) 橋梁点検 194橋 88,229千円
(内NEXCO跨道橋1橋、JR跨線橋2橋)
- (2) 橋梁修繕設計等 21橋 30,327千円
(井戸向橋、稗貫川橋、板屋橋、清水橋、川原橋、小呂別五の橋、稲荷橋、寿橋、黒森橋、寄合沢橋、岳大橋、諏訪前橋、胡四王橋、下立石橋、下大橋橋、あぶら橋、天神橋、甚五郎橋、砂沢二号橋、幸田稲荷橋、母衣輪3号橋)
- (3) 橋梁修繕工事等 19橋 280,569千円
(井戸向橋、稗貫川橋、板屋橋、清水橋、猪鼻4号橋、小呂別五の橋、稲荷橋、寿橋、黒森橋、寄合沢橋、諏訪前橋、八幡沢五号橋、胡四王橋、下立石橋、下大橋橋、大曲橋、あぶら橋、天神橋、穴沢跨線人道橋)
- (4) 橋守事業 298千円

【令和4年度→令和5年度繰越事業】
○橋梁維持事業
事業費 179,079千円（国費: 97,941千円、地方債: 74,800千円、一般財源: 6,338千円）

- (1) 橋梁修繕設計等 4橋 25,510千円
(田尻橋、小呂別一の橋、小呂別四の橋、上片平橋)
- (2) 橋梁修繕工事等 10橋 151,225千円
(井戸向橋、清水橋、小呂別五の橋、稲荷橋、寿橋、諏訪前橋、胡四王橋、下立石橋、下大橋橋、黒森橋)
- (3) 支障移転補償 2,344千円

令和4年度
事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	08	02	05	184160	交通安全環境整備事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		188,077	458,679		270,602
財源内訳	国費	73,651	165,500		91,849
	県費	0	0		0
	地方債	59,600	126,100		66,500
	その他	0	106,300		106,300
	一般財源	54,826	60,779		5,953

特定財源の内訳

事業期間		単年度繰返	<input type="radio"/>	期間限定	令和2年度 ~ 令和5年度

部重点施策における目標

安全で利便性の高い道路の整備を進める。

事業開始の背景・経緯

歩行者の安全確保のため、歩道の新設、バリアフリー化を実施している。各地域、障がい者団体等の要望に基づき、それぞれのニーズに応える手法により事業を展開している。

事業概要

- 交通安全環境整備事業（繰越明許費） 160,769千円
- 交通安全環境整備事業 297,910千円

担当部署	16200000 建設部 道路	担当課長	重茂 猛
------	-----------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

交通安全プログラムによる通学路の危険箇所・交通安全施設要望・地域要望等により、事業費等を検討しながら、事業箇所を選定。

- 1 交通安全施設整備（繰越明許費） 160,769千円
 - (1) 歩道整備 4路線 160,769千円
完了路線 0路線 完成延長0.7km
- 2 交通安全施設整備 297,910千円
 - (1) 歩道整備、バリアフリー 7路線 146,714千円
完了路線 1路線 完成延長0.1km
 - (2) その他 151,196千円
交通安全施設整備業務委託等